

[標準様式例 1-1]

山梨県入札監視委員会 審議概要

開催日及び場所	令和7年11月17日 午後1時30分から午後3時15分まで 山梨県庁本館特別会議室	
委 員 員	委員長：武藤 慎一（山梨大学大学院教授） 委員長代理：猪狩 学（弁護士） 委員：萩原 孝恵（山梨県立大学教授） 吉井 敏瑞（一级建築士）	
審議対象期間	令和7年7月1日～令和7年9月30日	
総契約件数	348件	(備考)
一般競争入札 (総合評価)	334件 (246件)	審議件数 ・一般競争入札 6件 ・指名競争入札 1件
通常指名競争入札	12件	
随意契約	2件	
指名停止状況	2件	
私的独占又は不当な取引制限に係る情報処理状況	0件	
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問 別紙のとおり	回答 別紙のとおり
委員会による意見の具申又は勧告の内容	審議した7件については、適正に処理されている。	

別紙

《抽出事案の審議》

1 [一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査）]  
富東農務事-25-0023 北富士地区 鹿留沈砂池改修工事

〈工事概要〉

沈砂池 一式

小型水門設備製作据付工 一式

予定価格 58,663,000 円 (消費税含む)

〈入札参加資格〉

○本店所在地 : 東部農務事務所管内

○競争入札参加資格 : 土木工事業 A又はB

○企業の施工実績 : 17 百万円以上の河川・砂防工事、又は農業農村整備工事。

ただし、元請として請負い平成22年4月1日から入札参加資格申請締切日までに完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。

○配置予定技術者の資格;なし

〈質疑応答〉

Q) 応札業者は1者のみだが、工事自体は特殊性のある工事か。

A) 基本的には鉄筋コンクリートの一般的な工事だが、しいて特性があると言えばゲートを据え付けている部分です。

Q) この工事は、過去に同様の工事の経験がないと難しいか。

A) それほどの難易度が高いものではないと考えています。

Q) 砂をとどめるという趣旨だと思うが、次第に砂が溜まっていくと思う。それは別途回収が必要になるか。

A) 溜まった砂は排砂ゲートを上げて川の方へ戻します。

Q) 排砂について、継続的にメンテナンス料がかかることはあるのか。

A) メンテナンス料はかかりません。

Q) 他にこういった施設は、富士東部地域にあるのか。

A) 北富士地区では以前から同様の施設が沢山造られていて、これらがいよいよ改修の時期に入ります。今回の工事が第一号の改修になり、これから工事が順次行われていきます。

Q) これらの施設は、だいたい何年くらいで改修になるか。

A) 耐用年数が30～50年くらいです。コンクリートは耐用年数が長いのですが、ゲートに鉄部分があるため、もう少し早く耐用年数を迎えます。

Q) 今回は1者入札であったが、やはり数社応札業者があつたほうが良いと考える。

A) 農業用水を扱うため水を使わない時にしか工事ができないという制限がありますが、それ以外の部分では応札者が増えるよう努力していこうと思います。

## 2 [一般競争入札（事後審査）]

### 中北林環事-25-0087 林道南アルプス線（立石沢手前工区）改良工事

#### 〈工事概要〉

林道改良 L = 35 m W = 4.0 m

落石防護網工 A = 256 m<sup>2</sup>

予定価格 10,758,000円（消費税含む）

#### 〈入札参加資格〉

○本店所在地 : 中北林務環境事務所管内

○競争入札参加資格 : 土木事業 C

○企業の施工実績 : **3百万円以上の土木一式工事**

ただし、元請として請負い平成22年4月1日から入札参加資格締切日までに完成している工事。なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。

○配置予定技術者の資格：予定価格が8千万円未満のため不要

#### 〈質疑応答〉

- Q) 工事の平面図を確認すると既設の落石防護網工があるが、年度をまたがってこの一帯について何年も工事を行うのか。
- A) 既設の落石防護網工は、相当古いものです。今回この箇所に落石が発生したため、35メートル延長する工事としました。そのため、年度をまたぐ工事ではなく、単年度の工事です。
- Q) 既設の落石防護網工の工事は、何年くらい前の工事か。
- A) おそらく20年近く前の工事です。
- Q) 林道南アルプス線で、今回の場所ではなく他の箇所でも同様の工事があるか。
- A) 年間を通して落石が原因の工事が一番多く、維持管理工事は毎年予算の範囲内で行っています。併せて令和元年に台風により、7か所で大きい崩れ等が発生しています。そのうち3か所は完成して、残る4か所のうち1か所は今年度工事を予定しています。
- 一番大きい崩壊地が残っていますが、ここは林野庁が施工することになっています。今まで調査をしていますが、全体が地滑りで動いているのか動いていないのかなど状況把握が難しいようです。
- 令和5年に現地で有識者を交えた検討会を実施し、ようやく工事に向けて動き出しているところですが、いつ完成するかはまだ見えない状況です。
- Q) これから複数の工事があると思うが、工事場所が南アルプスの奥部になるので、どうしても南アルプス市内の業者が参加する傾向にあると考えるがどうか。
- A) 南アルプスの山間部で奥深く、急傾斜の作業という事で非常に難易度が高く、どうしても慣れた地元南アルプス市内の業者がとる場合が多いと思います。それに加え、この林道は観光用として登山者の利用が多く、交通規制をしながら工事を行うためとても大変であり、地元の慣れた業者がやる傾向が強いです。
- Q) 応札可能業者は92者あるが、慣れた業者はだいたいどれくらいか。
- A) 南アルプス市内の応札可能業者は、13者あります。これらの業者であれば施工は可能だと考えます。
- Q) 入札参加業者が1者であったのは、時期的な要因はあるか。

A) やはり、技術者がどれだけ確保できるかというところが非常に重要であり、この工事は C ランク工事のため、こうした条件が厳しい事業者もあります。

### 3 [一般競争入札（総合評価落札方式）（事前審査）]

道路管理課-25-0005 （主）南アルプス公園線災害対策工事（1工区）

#### 〈工事概要〉

掘削工 V=2350m<sup>3</sup> 仮設工 一式

予定価格 3 6 1, 5 2 6, 0 0 0 円（消費税含む）

#### 〈入札参加資格〉

- 本店所在地 : 県内
- 競争入札参加資格 : 土木工事業 A
- 企業の施工実績 : 請負金額1億円以上の道路工事  
ただし、元請けとして請負い平成22年4月1日から入札参加資格締切日までに完成している工事。  
なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- 配置予定技術者の資格 : 監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する一級土木施工管理技士又は同等以上の資格を有する者

#### 〈質疑応答〉

Q) この工事は、かなり難しい工事か。

A) はい、難しい工事です。

Q) 落札された業者は、以前にもこのような事業に携わられてきた会社なのか。

A) はい、南アルプス公園線の災害防除工事などの施工実績もあります。

Q) 総合評価落札方式に関する評価調書で、事故及び不誠実な行為にマイナス点が書かれているが、これはどういった形のものか。

A) マイナス点が付いているところは「事故及び不誠実な行為」ですが、一か月未満の指名停止処分を受けているためです。

Q) この場所は、以前にも土砂崩落があったか。

A) はい、以前から崩れやすい箇所でしたので洞門がありました、今回は洞門を突き抜けて土砂が道路に入りました。

Q) 感想になるが、今後も2工区、3工区と工事が予定されているが、2工区、3工区も今回の落札者と同じ業者になる可能性が高い。工事金額も大きいので、入札に競争原理働くような方策があればいいと思う。

#### 4 [一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査）]

流域下水事-25-0031 桂川流域下水道桂川2号幹線管路施設更新・耐震工事(余フ)

##### 〈工事概要〉

管更生  $\phi 700$  L=117m

管口耐震化工（可とう継手方式1） N=1箇所

予定価格 60,379,000円（消費税含む）

##### 〈入札参加資格〉

○本店所在地 : 富士・東部建設事務所管内

○競争入札参加資格 : 土木工事業 A又はB

○企業の施工実績 : 請負金額1千8百万円以上の下水道工事

ただし、元請として請負い平成22年4月1日から入札参加資格締切日までに完成している工事。

なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。

○配置予定技術者の資格 : なし

##### 〈質疑応答〉

Q) この工事は、単発の工事か。

A) はい。

Q) この箇所が問題になったのはなぜか。

A) 管内で腐食の調査をしたところ、この箇所が一番腐食の進んだところであったからです。

Q) 今後も同様の工事を行うのか。

A) 定期的に調査をしており、劣化状況を確認したうえで計画的に更新工事を行います。

Q) 総合評価落札方式に関する評価調書について、「企業の施工実績」の「同種工事の施工実績」には加

点があるのに、「配置予定技術者の能力」の「同種工事の施工実績」に加点がないのはなぜか。

A) 企業としては同種の施工実績がありますが、今回配置予定の技術者に同種工事の施工実績がないためです。

#### 5 [一般競争入札（総合評価落札方式）（事後審査）]

新環状建設-25-0031 (主) 薩摩南アルプス中央線道路照明更新工事(余フ)

##### 〈工事概要〉

道路照明灯更新工（LED化） N=36基

予定価格 33,440,000円（消費税含む）

##### 〈入札参加資格〉

○本店所在地 : 県内

○競争入札参加資格 : 電気工事業 A又はB

○企業の施工実績 : 1千万円以上の道路の電気工事

ただし、元請として請負い平成22年4月1日から入札参加資格締切日までに完成している工事。

なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。

○配置予定技術者の資格：－

〈質疑応答〉

Q) 他の案件に比べて応札者が多く、落札率は低いが、そのあたりの要因は何か。

A) はっきりとした理由は不明ですが、過去同様の工事（LED化）も応札者が多く、落札率は低いので、工事内容が業者にとって魅力的なのかもしれません。昨年行った同様の工事も、応札者数は6～8者でした。落札率も88.8%～89.7%でした。当事務所でR3に新設工事がありましたが、参加業者は4者、応札業者は3者、落札率は89.4%でした。また、別の工事でも参加業者5者、応札業者4者、落札率は89.4%でした。

Q) 落札業者はだいたい同じ業者か。

A) いつも同じではありませんが、昨年度の工事と今回の工事はたまたま同じ業者でした。R3の新設の工事は、別の業者です。

Q) 総合評価落札方式に関する評価調書の総合評価結果で、最低価格の業者の落札決定基準に×があるのはなぜか。

A) この業者の価格が低入札調査基準価格を下回っており、評価点の合計が参加者全員の平均点の80%を下回らないという基準を満たさなかったため、失格となりました。

Q) 平均点の80%を下回るかは、入札をしてみないとわからないということか。

A) はい、そうです。

Q) 昨年度の工事と同じ業者が、この工事を落札したのか。

A) 昨年度は同様の工事が2つあり、そのうちの1つを落札した業者が今回の工事を落札した業者と同一です。参加業者は毎回異なります。

## 6 [一般競争入札（総合評価落札方式）（事前審査）]

### 企・電気課-25-0009 発電総合制御所 監視制御システム更新工事（継続）

〈工事概要〉

○発電総合制御所 監視制御サーバ等更新 1式

データ中継装置等更新 1式、総合監視盤等更新 1式

監視制御操作卓更新 1式

○奈良田第一発電所 伝送中継盤等更新 1式

○笛吹川水系発電管理事務所 伝送中継盤等更新 1式

○取水口監視所 監視制御システム等連携 1式

予定価格 915,079,000円（消費税含む）

〈入札参加資格〉

○本店所在地 : 指定なし

○競争入札参加資格 : 令和6年10月1日の直前に終了する事業年度を対象とした経営事項審査の電気通信工事の総合評定値が1000点以上であること。

- 企業の施工実績 : 請負金額1億円以上の発電所またはダムの監視制御装置の新設若しくは更新を含む通信工事  
 ただし、元請けとして請負い、平成22年4月1日から入札参加資格締切日までに完成している工事。  
 なお、共同企業体の構成員としての実績は、出資比率が20%以上の場合のものとし、企業体の施工実績を各企業の施工実績として扱う。
- 配置予定技術者の資格 : 電気通信工事の監理技術者資格者証及び監理技術者講習修了証を保有する者
- 配置予定技術者の施工実績: 完成時に監理技術者、監理技術者補佐、主任技術者、担当技術者（完成時にCORSに登録された者に限る）又は監理技術者資格者証を有した現場代理人（完成時にCORSに登録された者に限る）として平成22年4月1日から入札参加資格申請締切日までに「企業の施工実績」と同様の施工従事経験を有する者

#### 〈質疑応答〉

- Q) 入札参加資格に該当する県内業者がいないため、応札可能業者が県外27者ということだが、27者は東京何社等全国的にどの程度地域的な散らばりがあるのか  
 A) 応札可能業者の地域分布は把握しておりませんが、山梨県の入札参加資格を有しているというのが大前提となっており、その中でこういったシステムの施工・管理を行う業者は大都市に集中しておりますので、東京や関西といった方面になると思います。
- Q) 今回は東京の業者が落札したが、関西の業者が入札に参加することもあるか。  
 A) はい、山梨県の入札参加資格を持っていれば、一般入札であれば入札可能なので、東京だけでなく、関西から入札することもあります。
- Q) 関西や東北など、離れた地域の業者の実績がないのであれば、実際には応札可能業者は27者もいないのではないか。距離が多少離れていても応札可能業者は27者と考えるのか。  
 A) このような設備を製造している会社が少ないこともあり、入札参加資格設定を広く設定し、最終的に27者という理解でおります。
- Q) 総合評価落札方式に関する評価調書の価格以外の評価結果について、落札業者の企業の施工実績（同種工事の施工実績）がないのはなぜか。  
 A) 同種の工事自体が少ないことが考えられます。
- Q) では、この業者に任せて大丈夫か。  
 A) 元のシステムがこの業者製のため、可能だと思います。この工事は、既存の監視制御システムを作させながら更新しなければなりません。そのため他の業者が応札しにくかった可能性があります。

## 7 [通常指名競争入札]

### 石和温管理-25-0004 中央監視システム（中継盤外）更新工事

#### 〈工事概要〉

- ・ 東系統中継盤更新 1面
- ・ 西系統中継盤更新 1面
- ・ 受湯室中継盤内機器更新 1面
- ・ 監視用表示装置更新 1台

- ・無停電電源装置更新 1台
  - ・試験・調整 1式
- 予定価格 5, 709, 000円 (消費税含む)

〈指名業者を選定した考え方の説明〉

選考における優先順位

業者状態が正常で納税状況が完納の業者は県内で161者である。

1. 161者のうち本店所在地が山梨県内である9者を選定
2. この9者のうち当該工事を施工する能力のある6者を選定
3. 最後に工事現場に近い者から5者を選定した。

〈質疑応答〉

Q) 更新工事はこれまでにあったのか。

A) この設備は平成26.27年度に設置しているのですが、設置以降は初めての工事になります。

以上